

第 1 課 紹介

第 1 課 Step1 私の友だち

私の友だちは私より 1 年早く会社に入った先輩である。しかし私たちは年が同じなので友だちになることにした。名前はイ・キョンアと言う。

キョンアは私が会社に入った際、会社の仕事(業務)はもちろん、多くのことを教えてくれた。顔も小さく肌も綺麗なキョンアは、いつも綺麗に化粧をしているので、私は化粧がうまいキョンアが羨ましかった。キョンアはちょっと内向的であるが、仕事も上手にできて良く気が利くので、皆に褒められ、人気もある。

いつか会社の仕事が終わった後、同僚たちと一緒に夕ご飯を食べてからカラオケに行った。その日私たちは新しいキョンアを見た。内向的で口数も少ないキョンアが、マイクを握った瞬間歌手に変わった。私たちはみんなびっくりしたが、すぐに手拍子も打ち、一緒に歌いながら楽しい時間を過ごした。今でも私たちはその時のことをときどき話す。

キョンアは歌、旅行など趣味も多い。いつも同じ生活をしている私に比べるとキョンアはとても楽しく生きている。今度の休暇のとき、キョンアと共に東京へ旅行に行くことにした。キョンアは東京が二回目だけど、私は初めてである。すでに楽しみだ。早くその日が来たらいいと思う。

第 1 課 Step 2 ルームメイトの紹介

みゆき：ジュンスさん、キョンホさんに聞きましたが、ルームメイトは探しているんですか？

ジュンス：はい、部屋が大きいので他の人と一緒に使ってもいいような気がして。

みゆき：私の知り合いの中で部屋を探している人がいるのですが、紹介しましょうか？

ジュンス：どんな人ですか。

みゆき：私の後輩なんです。性格もいいし、こざっぱりしているので掃除はうまくできると思いますよ。

ジュンス：では、その人は掃除をして私が料理をしたらいいでしょうね。私は料理するのが好きなんです。

みゆき：本当ですか？では、いつご紹介しましょうか？

ジュンス：土曜日の 3 時ごろはどうですか？

みゆき：私は大丈夫ですが、後輩に連絡してみたらからお電話しますね。

第 2 課 道案内

第 2 課 Step 1 韓国民族村

韓国民族村は京畿道(キョンギド)龍仁市(ヨンインシ)にある民族博物館です。朝鮮時代 500 年間の生活を見て体験することができるので、外国人はもちろん韓国人も一度は行ってみる価値がある有名な観光地です。

韓国民族村では昔の人々の生活の様子を見ることができ、市場ではいろんな食べ物や生活用品を売っているので、誰でも興味深く楽しめる所です。

ソウルからの行き方は直行バスや電車を利用すると良いです。直行バスは普通 1 時間 30 分くらいかかり、電車は 1 号線の水原(スウォン)行きに乗って水原駅で降り、民族村で運行している無料のシャトルバスを利用すると良いです。

シャトルバスは水原駅 4 番出口から出て少し歩いて行くと、総合観光案内所があるのですが、そちらで無料乗車券を受け取って、シャトルバスに乗ったら民族村まで 30 分ほどかかります。

韓国の伝統文化を体験してから帰ってくる途中で、家族皆でたっぷり食べられそうな料理として水原の有名な水原カルビをお勧めします。

第 2 課 Step 2 どうやって行きますか？

シマ：あの、一つお聞きしたいのですが、この近くにおいしい冷麺の店がありますか？

案内：はい、ホテルの右側の道をまっすぐ行く途中で、横断報道を渡って左側に行ってください。少し歩いていくと、「ウリ冷麺」という看板が見えます。

シマ：あ！そこですか？タベ寄ったのですが、人が多くてそのまま出て来ました。やっぱりおいしい店なんですね。

ぜひ行ってみます。そして三清洞(サムチョンドン)カフェ街はどうやって行きますか？

案内：ここから 4 号線に乗っていく途中で忠武路(チュンムロ)で 3 号線に乗り換えて、安国(アングック)駅で降りてください。それから 1 番出口へ出て、歩いて行かれると良いです。

シマ：けっこう歩きますか？

案内：はい、しかし素敵なカフェやかわいい店がたくさんある所なので、歩いている途中で疲れたらお茶も飲んでショッピングもすることができます。

シマ：そうですか。もしかして地下鉄路線図とソウル観光案内図もありますか。

案内：はい、ここにあります。道がちょっと複雑なのでお探しになっている途中で分かりにならなかつたら誰かに聞いてみてください。

第3課 旅行

第3課 Step 1 ソウル旅行

今日はソウル旅行の二日目、私たちはまず光化門(クァンファムン)広場へ行った。光化門広場はドラマによく出てくる所なのでぜひ来てみたかった。広場の噴水台には人がたくさんいた。私は友だちと世宗(セジョン)大王の銅像の前で写真を撮り、広場を歩きながら私が見たドラマの場面などを考えた。

次は仁寺洞(インサドン)へ行った。仁寺洞ではランチを食べて、友達とハンボック(韓服：チマチョゴリ)を着て写真を撮った。そこのおばさんたちが私にハンボックがよく似合うと褒めてくれた。私はちょっと恥ずかしくてぎこちなかったけど、後で写真を見ると本当によく似合っているようだった。友達もとても綺麗だった。私たちは仁寺洞を見物して明洞(ミョンドン)へ行った。

明洞は来る度に関心するものが多い。私は化粧品を買った。土曜日なので明洞はもっと活気があった。友だちは洋服も買って、路上で売っているアクセサリーも買った。私たちはショッピングをするついでに友だちと家族にあげるプレゼントもいくつか買った。夕ご飯を食べてから南山(ナムサン)にある N ソウルタワーへ行った。

ソウルの夜景は本当に素晴らしかった。そして恋人たちがかけておいた数十万個の愛の鍵がとても印象的であった。ソウルタワーに来たついでに展望台も登りたかったが、時間が遅すぎてそのまま降りてきた。

私たちは明日日本へ戻る。ソウルは韓国の過去と現在を共に感じることができるので良い。次回はもう少しゆっくりソウルを見物したい。

第3課 Step 2 箱根旅行

美奈子：ユンスさん、家族旅行はどうでしたか。

ユンス：本当に楽しかったです。箱根は電車や船のように乗り物が多くて子どもたちがとても喜んでいました。

美奈子：そうです。特に大涌谷のロープウェーは観光客みんなが喜ぶます。

ユンス：はい、僕の妻は大涌谷の硫黄渓谷を見て、怖くて危うく叫ぶところだったそうです。

美奈子：そうだったんですか。箱根は東京から近くて火山地域で有名な所です。今も山から温かい水が流れているでしょう？

ユンス：はい、うちの子たちが黒い玉子を食べて、降りてくる途中でその水を見てソルロンタンの汁だと言ったのでみんな笑いました。

美奈子：ハハハ！ユンスさんの子どもたち、本当に面白いですね。旅行は新しい経験ができるので子どもたちにはもっといいと思います。

ユンス：私は疲れて死にそうだったけど、子どもたちはまた行きたいと言っています。

第4課 ショッピング

第4課 Step 1 ショッピング

「買い物に行く」という言葉がある。これは市場に物を買に行くという意味である。市場の長所は値段が安いということである。市場は漢方薬材や肉、魚だけ売っている専門の市場もあるし、食べ物横丁と生活に必要な品物を売っている市場もある。市場は毎日買い物をする人々で活気が溢れている。

プレゼントを買う時や品質が良い商品を買いたい時にはデパートを利用する人が多い。デパートは品物の品質は良いが、値段が高いと思うかもしれない。しかし、セール期間を利用したら良い物を手ごろな価格で買うこともできる。

大型ショッピングモールはショッピングセンターと映画館、大型マート、レストランが一つの建物にあるのでショッピングはもちろん、文化と外食を家族皆が楽しむことができる所である。家族と一緒にどこに行けばいいのかわからない時は、大型ショッピングモールで休日を楽しむのも良い。

ショッピングしに外に出かけないで、家で電話やインターネットで物を注文することができるため、最近ホームショッピングを楽しむ人々が段々と増えている。ホームショッピングでは各種生活必需品はもちろん、旅行に行かなくても全国各地の有名な特産品を家まで届けてくれるのでとても便利である。

第4課 Step 2 洋服店で

サンフン：これ、他の色はありませんか？

店員：その色もよくお似合いです。他の色をお見せしましょうか？

サンフン：あ、僕じゃなく、弟にプレゼントしようと思ひまして。

店員：そうでいらっしゃるんですね？では、最近の若者たちにとっても人気のある商品をお見せするので、少々お待ちください。

サンフン：(しばらくして)一回着てみてもいいですか？弟とサイズが同じなんです。

店員：あ、はい、こちらで着てみてください。

(しばらくして)お客様、いかがですか？お気に召しましたか？

サンフン：そうですね…よく合っているようですが…、どうですか？

店員：よくお似合いです。ズボンの長さも短くなくていいと思います。

サンフン：僕は気に入りましたが、弟が好むかどうか分かりませんね。

店員：お気に入らないとおっしゃたら、交換や払い戻しも可能です。

サンフン：交換や払い戻しはいつまでにすればいいですか？

店員：一週間内にレシートをお持ちになればできます。

第5課 趣味

第5課 Step 1 私の趣味

私の趣味は写真を撮ることである。私が写真を撮り始めたのは高校の時である。友だちと写真部に入ったことが今の趣味になった。

週末には遠い所まで写真を撮りに行く。今まで韓国はもちろん、外国のいろんな所を回りながら写真を撮った。3年前には気に入った写真を選んでブログに載せた。多くの人々が写真を見て良い文章(コメント)をいっぱい載せてくれた。うちの会社の同僚たちも私に写真の撮り方を学びたいと言った。最初は何人かの同僚たちだけに教えてあげたり一緒に写真を撮りに旅行に行ったりもしたが、今はその人数が20人を超える大きな部活になった。会社でも積極的に支援してくれて、去年から1年に1回ずつ社内の写真発表会も開く。私は今年の初めに良い写真を集めて初めて写真集を出した。ブログにはもっと多くのコメントが載ってきて、写真集を購入してくれる人もいた。

最近私は会社の仕事はもちろん趣味を生かしているんなことをやっているため、とても忙しい。しかし少しも大変だとは思わない。なぜならば、私が一番好きなことなのでむしろ一日一日がとても幸せである。

第5課 Step 2 趣味の話

ウンヒョク：春奈さん、最近もヨガをなさいますか？

春奈：もちろんです。一生懸命通っていますよ。

ウンヒョク：ヨガを学びながら変わった点がありますか？

春奈：だいぶ変わりましたね。最初はただダイエットしようと思って始めましたが、身体がとても良くなりました。ストレスも解消されるので気分も楽になるし、生活するのが楽しくなりました。頑張っってやって、のちにヨガの先生になるのが私の夢です。

ウンヒョク：そうですか。私は趣味がないので趣味生活をする人が羨ましいです。

春奈：ウンヒョクさんは動物が好きじゃないですか。動物を一回飼ってみたいかがですか。

ウンヒョク：動物を飼うのは責任が必要なので容易く始めにくいです。春奈さんのお話を聞いたらヨガもやりたくなりますね。

春奈：では一度やってみてください。うちの教室に男性もいます。夫婦一緒に出られる方もいらっしゃるし、教室の雰囲気もとてもいいですよ。

ウンヒョク：そうですか。登録する前に見学できますか。

春奈：もちろんです。無料体験もあるのでいつか私と一緒に行きましょうね。

第6課 友達口調(パンマル)

第6課 Step 1 手紙

美穂へ

元気になっている？ 私も元気だよ。

しょっちゅう連絡もできず、ごめんね。この間日本で一緒に過ごした時間はとても楽しかったよ。私が日本に行って来たのも、もう1年が過ぎたよね。あなたにも会いたいし、その時一緒に会った友達たちにも会いたい。

ソウルはだいぶ涼しくなったよ。東京はまだ暑いでしょう？ 私は最近料理を習っているの。私、来年、結婚することになりそうだよ。驚いたでしょう？

夫なる人は会社員よ。顔はイマイチなの。でも性格が私とよく合っているような気がするわ。一緒にいると心が落ち着くの。次回会ったら紹介してあげるね。

秋に韓国へ来ると言ったでしょう？ 日にちは決まった？ 韓国語もだいぶ上手になったでしょうね。この間の試験にも合格したと言ったでしょう？ 本当におめでとう！ あなたは何でも頑張るのがとても見ていて嬉しいわ。今度会ったらもっとたくさん韓国語でお話できたらいいな。

それじゃあ、また会える時まで元気になってね。また連絡するね。さようなら…。

ソウルよりユジョン

第6課 Step2 先生をご招待

ウォンジュン：先生、こんにちは。

先生：あら！ウォンジュン、久しぶり。元気だった？

ウォンジュン：はい、先生。来週の金曜日お時間よろしいでしょうか？

先生：うん、いいよ。何かあるの？

ウォンジュン：来週うちのクラスの忘年会に先生をご招待したくて…。

先生：そう？何時？

ウォンジュン：6時に学校前の韓定食の店でやります。僕がご案内しに参ります。

先生：分かった。一緒に行こう。

ウォンジュン：あ、そうだ！そして先生の研究室をお引越されるとき、僕がお手伝いしましょうか？

先生：いいわよ。でも君は忙しいんじゃない？気にしないで。

ウォンジュン：大丈夫です。では、忘年会の時にお目にかかります。

先生：そう、その時に会おうね。

ウォンジュン：さようなら。

先生：さようなら。

第7課 伝達

第7課 Step 1 新村(シンチョン)ですか？

ソウルに遊びに行ってきた日本人の友達である山田さんに聞いた話です。

ソウルに行った山田さんはショッピングをしようとしてホテルの前でタクシーに乗ったそうです。タクシーの運転手さんに「シンチョン」に行ってもらいたいと言ったそうです。しばらくの間タクシーに乗って行ったが、道がちょっと違うようだったので「おじさん、こちらシンチョンに行く道で合っていますか？ 違うようですが…」と言ったそうです。タクシーのおじさんは「新村(シンチョン:Shinchon)ですか？ 新川(シンチョン:Shincheon)ですか？」と友だちに尋ねたので、もう一度「シンチョンです。」と答えたそうです。

おじさんはタクシーを道の端側に停めて、紙を渡しながらかいてもらいたいと言ったそうです。友達はおじさんに「新村」と書いてあげたそうです。おじさんは聞き間違えて「新川」へ向かっていたそうです。友達はタクシーの料金もたくさんかかって、韓国語に対する自信もなくなって、本当に心が傷ついたと言っていました。

この話を聞いて、私は山田さんに「シンチョン(新川)」「シンチョン(新村)」「シチョン(市庁:市役所)」は発音が難しいので、タクシーに乗る際はタクシーの運転手さんに目的地を必ず書いて見せてあげるようにと言いました。

第7課 Step 2 お誕生日ですって？

阿部：ソニさん、今日お誕生日ですって？ おめでとうございます。

ソニ：ええ？ 今日、私の誕生日ではないのですが…。

阿部：え？ 裕子さんが今日ソニさんの誕生日だと言っていたので、お祝いに来たのですが。

ソニ：違います。私の誕生日は来月です。あ！私の誕生日は旧暦なんですけど、裕子さんが新暦として勘違いしたようですね。

阿部：そうですか。誕生日も旧暦で祝う人がいますか？

ソニ：はい、韓国では誕生日も旧暦でやる人たちがいますよ。

阿部：ええ、ところでソニさんが紅茶好きだときいて紅茶も買ってきたし、裕子さんが誕生日プレゼントも渡してもらいたいと言っていたのでこうして持ってきたんですが…。

ソニ：心配しないでください。今日はこのまま私の誕生日にします。本当にありがとうございます。裕子さんにもありがとうと伝えてください。

阿部：ごめんなさい。私たちのせいで早く年を取ってしまいましたね。

ソニ：いいえ。韓国人は誕生日じゃなくお正月に年を取るんです。私が今日は時間がなくて、週末におごりますね。裕子さんもぜひ来てもらうように伝えてください。

第8課 流行

第8課 Step 1 韓国の時代別の流行

韓国の1980年代はソウルオリンピックの影響でスポーツに関する国民の関心が高かった。オリンピック競技場とオリンピック公園を作り、韓国人の皆がスポーツに熱狂した。

90年代は社会的に変化が多い時代であった。まず、中高生たちの制服がなくなり、学生たちは私服を着て学校に通った。有名ブランドのかばんと靴が学生たちに人気があった。それで誰もが欲しがる物に「国民」という言葉が付き始めたし、女性の芸能人にも「国民の妹」、「国民のお嫁さん」という言葉があだ名のように付いた。90年代後半に携帯とインターネットが登場して、2000年には必需品になった。1998年には日本大衆文化の開放で韓国の映画館で日本の映画「ラブレター」が上映された。日本のアニメーション「となりのトトロ」と「ポケモン」も大きく流行したし、キャラクターグッズも多くの人気があった。

2000年代に入って日本、中国などに韓流の熱風が吹いた。韓国ドラマを通して吹き始めた韓流は韓国の食べ物や文化、そしてK-POPへと続いた。強い男性よりもか弱そうに見えるが筋肉のある「モムチャン」と、肌が白く顔も小さくかわいい「コンナム」たちが人気を集めながら、男性たちには「～チャン」、「～ナム」という新しい言葉がたくさん作られた。

第8課 Step 2 ママのコート

準一：シネさん、シネさんの名前は漢字でどのように書きますか？

シネ：私(の名前に)は漢字がありません。ハングルの名前です。私が生まれた時にはハヌル(空)、バダ(海)、ボラム(甲斐)、ハナ(一つ)…このようなハングルの名前が流行したんですって。

準一：日本も名前に流行りがありますが、韓国もそうですよね。ところで、シネさん、そのコート本当にお似合いですね。

シネ：あ、これですか？うちのお母さんが若かった頃に着ていたものです。私が着てみたら良さそうだったので、お母さんにちよだいと言いました。

準一：流行は本当に回って回るものようですね。お母さんが着ていたものを娘が着るんですね。

シネ：はい、うちのお母さんは物をなかなか捨てられないんです。それでお母さんが着ていた服をたくさんもらいました。今の私が着てもあまり流行に遅れていないようです。

準一：はい、素敵ですね。お母さんがおしゃれでいらっやいますね。もしそのコートをシネさんの娘さんが着ることになったら3代に渡って着るようになりますよね。

シネ：あら！そうなるかもしれませんね。

第9課 プレゼント

第9課 Step 1 お決まりのプレゼント

プレゼントを選ぶ時に何が良いのか分からなくて困る場合が多いです。このような時に決まったプレゼントがあったら気楽ではないでしょうか。韓国ではこのようにお決まりのプレゼントがいくつかあります。

まず引越し祝いのプレゼントとしては、引っ越した家でお金持ちになれという意味で、洗剤やトイレトーパーをプレゼントします。それ以外にも、赤ちゃんが生まれて 100 日になる日や、初めての誕生日である「ドル」になると、金の指輪をプレゼントします。なぜ赤ちゃんに金の指輪をプレゼントするのかご存知ですか。赤ちゃんの健康を祈願して、赤ちゃんが成長しながら経済的に困ったことができた時、価値が下がらない金は赤ちゃんに役に立つためであるそうです。

結婚式、還暦祝い、葬式には、現金を贈る人が多いです。友達や家族の結婚式には生活に必要な電気製品や生活用品をプレゼントしたりもしますが、包丁やハサミは縁を切るといってプレゼントしません。そして風を起す扇風機やエアコンをプレゼントしたら、プレゼントを受け取った人の旦那さんが浮気をするといわれているし、彼氏や彼女に靴や履物をプレゼントしたら別れるという話があります。

財布をプレゼントする場合は、財布の中に紙幣を 1 枚入れてプレゼントすると財布を受け取った人にお金がよく入っているとされています。皆さんの国でも、このように決まった贈り物があるか考えてみてください。

第9課 Step 2 誕生日プレゼント

田中：誕生日パーティーに行きますよね？私も招待されたんですよ。

ジユン：そうですか。では一緒に行きませんか？

田中：それは良かったです。ところでプレゼントは用意されましたか。

ジユン：はい、私は文化商品券を準備しました。スヨンさんが演劇や映画が好きじゃないですか。田中さんは？

田中：スヨンさんが何が好きか分からなくて悩んでいます。

ジユン：ではお花はいかがですか？スヨンにお花をあげる彼氏もいないし。

田中：えっ？スヨンさんが誤解したらどうしますか？

ジユン：まさか、そんなはずがあるでしょうか？韓国では女性達に花をよくプレゼントします。女性達はお花が好きじゃないですか。

田中：では、そうしましょうか。何だかちょっと恥ずかしいんですけど……

ジユン：ははは、田中さん可愛いですね。間違いなくスヨンさんも喜ぶと思います。

お花を持った男、田中さんも格好良さそうですね。

田中：からかわないでください。プレゼントを選ぶことは本当に難しいです。

ジユン：これから女性にはとにかくお花をプレゼントしてください。楽じゃないですか。私の誕生日の時もお願いします。

第 10 課 記事

第 10 課 Step 1 多文化センター

韓国に移住して住んでいる(外国人)女性達のために先月 3 月に建てられたシンオ区多文化センターでは、色々な多文化の品物と食べ物を用意してイベントを開いている。多文化センターの 1 階は展示館、2 階はレストラン、3 階は事務室及び相談室で、多文化女性達が直接運営している。

1 階の展示館には、多文化の女性達が作った色々な国の工芸品を展示していて、2 階にあるレストランでは、多文化女性達が自分の国の食べ物を作って販売している。そこをよく訪れる住民は、「多文化女性達が社会活動に参加できるので良いと思います。そして食べ物もとても美味しかったですよ。」と言いながら、家族と一緒によこちらを訪れると言っていた。

一方、区役所の関係者は開館するや否や多くの人々が訪ねてきているここ多文化センターは、地域の住民達には他国の文化を紹介し、多文化の家族を理解することに役に立ると言っていた。そしてこれからも多文化女性達に、気楽で温もりのある実家に来た気分を感じさせてあげるセンターの活性化のために、引き続き努力していくことを明らかにした。

第 10 課 Step 2 コンミナム(イクメン)でいらっやいますね。

リポーター：今日は話題の映画『風』の主人公、イ・ヨンウさんとのインタビューです。最近のお気持ちはいかがですか？

俳優：はい、嬉しいです。夢を見ているようですね。

リポーター：今年、賞もたくさん受け取られましたよね。こんなに多くの方々に喜ばれることをご存知でしたか。

俳優：いいえ、しかしみんなで頑張って作って私も久々に撮った映画がうまくいって本当に嬉しいです。

リポーター：演技のために努力されていることはありますか？

俳優：色々ありますが、特に心構えですね。純粋な心構えで作品を見て演じようと努力しています。

リポーター：子供のような純粋な心でしょうか。本当に心までコンミナム(イクメン)でいらっやいますね。

俳優：え？久々に聞くお話ですね。私まだいけますか？

リポーター：もちろんです。素敵でいらっやいます。最後にファンの皆さんに一言お願いします。

俳優：今回の映画『風』をたくさん愛してくださって感謝いたします。これから、もっと良い映画で皆さんとお会いします。

皆さん、お元気でいらっやってください。

第 11 課 音

第 11 課 Step 1 プレーメンの音楽隊

ある田舎の農場に年老いて元気のないロバが一匹いました。
持ち主は荷物を運べないロバを見て怒鳴りました。
「仕事もできないやつ！ 明日市場に行くついでに売ってやろう！！」
その話を聞いて、ロバは怖くなって逃げました。
「はあ。僕はこれからどこに行けばいいんだろう？」
「そうだ！ プレーメンに行って音楽隊を作ろう ヒヒーン」
ロバはプレーメンに行く途中、道で犬に出会いました。
「狩りもできないと言い、飼い主が僕を追い出したよ。ワンワン！」
「じゃ、僕と一緒にプレーメンに行こう。」そして彼らは猫に出会いました。
「飼い主が僕に、年老いてねずみすら捕まえないから出て行けって。ニャアニャア！」
猫もプレーメンと一緒に行くことにしました。そして、泣いている鶏に出会いました。
「どうして泣いているの？」 鶏は泣いていて話をするできませんでした。
「ああん、飼い主が僕を食べちゃうって。コケコッコーワーン、コケコッコーワーン。」
「もう泣かないで、僕たち一緒にプレーメンに行って音楽隊を作ろう。」
「そうだ！ 僕は歌も上手だよ。聞いてみる？ コケコッコー！」

夜になってお腹が空いた動物たちは小さな家を見つけました。
ところが、その家の中で泥棒たちが食べ物を食べていました。
「わあ美味しそう。グウグウ～」
「僕たちがあの泥棒たちをやっつけてやろう。」
ロバの背中の上に犬が、そして犬の背中の上に猫が、猫の背中の上に鶏が上りました。
そして、みんなと一緒に大きな声で鳴きました。
「ヒヒーンヒヒーン！ ワンワン！ ニャアニャア！ コケコッコー！」
食べ物を食べていた泥棒たちは、変な声と窓際に映った大きな影を見てびっくりしました。
「ああ～、怪物だ！ 逃げよう！」
泥棒たちはびっくりして逃げて、動物たちは家の中に入り、美味しい食べ物を思う存分に食べました。

第 11 課 Step 2 自然の音

伊藤：昨日は、一日中雨が降り続いて憂鬱でした。

ミジョン：そうですか？ 私はしとしとと降る雨を見ながら音楽を聞いたら気分が良かったのですが、伊藤さんは憂鬱でしたか？

伊藤：少しだけ。ところで、昨日みたいな雨をボスルボスル(しとしと)降るって言いますか？

ミジョン：はい、そして夏の夕立はジュルクジュルク(ざあざあ)降るって言います。

伊藤：そうなんですネ。

ミジョン：私は自然の音を聞くと心が和みます。それでヨガする時、自然の音を聞きながらやります。

伊藤：ジョルジョル(さらさらと)流れる水の音、ソルソル(そよそよと)吹く風の音、チェクチェクチェック(ちゅんちゅん)鳥の鳴き声…、このようなものを聞くでしょうね？

ミジョン：あら！伊藤さん、よくご存じですね？授業時間に習いましたか？

伊藤：はい、ちょうど先週習いました。ところでミジョンさん、先からコルルック(ぐうぐう)お腹が鳴っていますが。

ミジョン：ハハハ、そうですか？では、私たちボグルボグル(ぐつぐつ)沸く味噌チゲでも食べにいきましょうか？

伊藤：銀行の隣に新しくできた食堂が美味しかったので、そこへ行きましょう。

第 12 課 料理

第 12 課 Step 1 キムチ

キムチは韓国を代表する食べ物の一つで、韓国人の食卓の上にも上ってくるおかずです。

「キムチ」といえば「辛い」と思われるが、実はキムチが最初から辛かったわけではありません。最初は塩だけにつけたキムチを食べたそうです。

その後水キムチが登場し、現在よく食べているキムチは朝鮮時代後期の時、唐辛子が韓国に入ってきた時から食べ始めました。

キムチは発酵食品で栄養がとても高い食べ物です。特に、キムチに入る唐辛子はビタミンCが豊富で、乳酸菌の発酵を手伝ってくれる(促進させる)ため、キムチをさらに栄養高くしてくれます。唐辛子だけではなく、ねぎ、にんにく、生姜も、抗癌効果が高くダイエットにも良いそうです。

キムチの食べ方も様々です。キムチを炒めてキムチチャーハンを作るか、豚肉を入れてキムチチゲを作ったりもします。また、お酒のおつまみとして豆腐キムチやキムチチヂミを作ることができます。その他にビビンそうめんや冷麺を食べる時も、キムチと一緒にまぜて食べたらより美味しく食べることができます。

このようにビタミンとミネラルが豊富なキムチを使って、今日の夕方の献立を立ててみるのはいかがでしょうか？

第 12 課 Step 2 朝食

ユンス：マキさんは韓国料理の作り方が分かりますか？

真紀：もちろんです。ナムルも作りし、鍋も作ることができます。

ユンス：うわ～、マキさんが韓国料理がそんなに上手だなんて知りませんでした。僕は料理ができないので、母がいつもおかずを送ってくださいます。

真紀：羨ましいです。お母さんの手作り料理が美味しいですね。私は真似をしているだけです。あまりおいしくはありません。

ユンス：何をおっしゃるんですか。では朝も韓国料理を召し上がりますか？

真紀：いいえ、朝はパンで済ます時が多いです。

ユンス：はい。僕は日本人が朝納豆を食べると聞いたので、何回か食べてみたのですが美味しかったですよ。最近は毎日食べます。

真紀：あら、ユンスさんが納豆好きだとは思いませんでした。外国人は納豆が食べられない人が多いですよ。

ユンス：そうですか？僕は食べ物に好き嫌いがありません。何でもよく食べるので心配しないでください。

真紀：はい？？？

第 13 課 健康

第 13 課 Step 1 健康な暮らし

うちのおじいさんは今年 90 才です。年齢に比べ、とても健康でいらっしゃるほうです。おじいさんは毎朝 5 時に起き、散歩をなさいます。おじいさんが毎日こんなに早く起きるせいで、うちの家族は朝寝坊をすることができません。しかし、そのおかげで私たちも規則的な生活ができると思います。

おじいさんはまた、食事でも少なめに召し上がります。お腹いっぱい食べるのは身体に良くないといつもおっしゃいます。おじいさんが健康でいらっしゃる理由はこれらのこともあるでしょうが、私は何よりもおじいさんがいつも楽しい気持ちを持って勤勉に動かれているからであると思います。最近おじいさんは友人らと週末の貸し農園へ通いながらサニーレタスやトマトなど、様々な野菜を育てることで毎日お忙しいです。土を触りながら畑で働くのが楽しいとおっしゃっています。それだけでなく、友人らと付き合うことがお好きなので近い所へよく旅行にも行かれます。

私も年をとったらおじいさんのように健康で幸せに暮らしたいです。そうするためにはまず、おじいさんの生活習慣を見習ってこそ可能であるだろうと思います。今からでも朝早く起きること、小食、楽しく生活することなどを実践しなければならなさそうです。

第 13 課 Step 2 偏食する子ども

サンジュン：この頃、子どものことで心配です。体も弱くて食べ物にも好き嫌いが激しいんです。

ひろこ：偏食がひどいんですか？

サンジュン：はい、それで心配です。

ひろこ：うちの上の子も小さい時に野菜をあまり食べなくて、野菜は主に挽いて料理しました。そしてたまにビタミン剤も飲ませました。

サンジュン：そうなんです。それから子どもに運動もさせますか？

ひろこ：はい、最近ではテコンドーをさせています。

サンジュン：そうですか。私の妻もテコンドーをさせたくて探してみたのですが、近い所がないと言っていたんです。

ひろこ：私たちも家の近くになくて調べてみたら、テコンドー教室のバスがうちのアパートまで来ていたんです。それで子どもを一人で乗せて送っています。

サンジュン：それはとても楽でしょうね。その電話番号をちょっと教えてもらえますか。

ひろこ：はい、うちの子とも同じテコンドーに通わせるといいでしょうね。

第 14 課 外観と性格

第 14 課 Step 1 性格テスト

あなたは次の色の中でどんな色が好きですか？好きな色を選んだ後、自分の性格について正しく書いてあるのか読んでみましょう。

黄色	黄色を選んだあなたは消極的な性格である反面、強い意志をもって努力する人です。普段は消極的ですが、決心すると人々が驚くほど積極的な姿を見せます。
緑色	緑色が好きなあなたはリーダーシップが強く、慎重な性格の人です。それに行動力があり性格も良い方なので、周りの人たちに人気があります。
青色	青色を選んだあなたは芸術的なセンスを持っているので、絵画やファッション関係の仕事をするのが良いです。
赤色	赤色が好きなあなたはとても明るい性格で、辛いことも克服する強い人です。そしてアイデアもたくさん持っているので、創造的な仕事がよく似合います。
紫色	紫を選んだあなたは性格が明るい反面、一人であることが好きなロマンチックな人です。そして個性が強く、他の人が何と言っても自分の考えを変えない場合が多いです。

第 14 課 Step 2 好きなタイプ

スヨン：ハヤトさん、前回会ったユキさんのことですが。

隼人：はい、どうしたんですか？

スヨン：最近、彼氏の話をしてないのをみると彼氏と別れたようです。それで髪も短く切ったみたいです。

隼人：そうですか。知りませんでした。

スヨン：周りに良い人がいたら、ちょっと紹介してあげてください。

隼人：そうですね…。どんなタイプが好きなのか分からないので。

スヨン：ユキさんは少し内気な人だから、ユーモアがあって性格が明るい人が似合いそうです。

隼人：外見にうるさいですかね？

スヨン：外見はそんなに気にしないと思います。この間私に男らしい人が好きだと言っていたんです。そして優しいところがあつたらもっと良いでしょうね？

隼人：誰が良いかな……。友だちにそんな人がいそうだけど……。

スヨン：あら、お友だちが多いみたいですね。

隼人：はい、友だちは多いけど、あ、そうだ！高校の友だちを紹介したら良さそうです。あいつが司法試験の勉強をしていて女性と交際もしてないんですよ。

スヨン：そうですか。もしそんなお友だちがまたいたら私に紹介して下さっても良いのですが…。

隼人：はい???

第 15 課 風習

第 15 課 Step 1 韓国の風習

《チュソク(お盆)》

チュソク(旧暦 8 月 15 日)は正月の次に大きい節句である。この日は、秋に新しく収穫したお米と果物でご先祖様に法事を行う。そして家族たちと一緒に墓参りをするが、墓参りをする前にお墓の草刈りをする。なぜなら、お墓に雑草が伸びたままにしておいてはいけないためである。またチュソクには家族たちが集まり、新米でソンプジョンを作ったりもする。「ソンプジョンを綺麗に作るとかわいい娘を産む」という言い伝えもある。夜は満月を見ながら踊る「カンガンスウォレ」をしてその他にも相撲や綱引きなど色々な遊びをする。

《トル ジャンチ (1 歳の誕生祝い)》

赤ちゃんの初めての誕生日を「トル」という。この日は親戚や友達を招待し、トル祝いを盛大にして子どもの将来を祝福する。またこの時「トルジャビ(選び取り)」をするが、「トルジャビ」とは鉛筆や糸、お金などを置いて子どもに取らせ、子どもの将来を占う風習である。最近では時代の変化に伴い、芸能人を夢見るようにとマイクを置いたり、パソコンのマウスや野球ボールを置いたりもする。

《ポンナル (日本の土用の丑の日)》

毎年 7 月から 8 月の間の一番暑いこの時期をサムボク(三伏; チョボク(初伏)・チュンボク(中伏)・マルボク(末伏))と言い、この時の暑さを「サムボクドウィ(三伏の暑さ)」と呼ぶ。ポクナルには暑さを乗り越え、健康を維持するために参鶏湯(サムゲタン)など特別な料理を食べる。

第 15 課 Step 2 七夕

チョンス: あれは何ですか。

よしこ: 明日が七夕なので紙に願いごとを書いて木にかけておいたものです。私も子どものときに願いごとを書いた覚えがありますね。そうだ! 韓国にも七夕があるんですって?

チョンス: はい。しかし、韓国は旧暦で 7 月 7 日だから普通 8 月になります。

よしこ: そうですか。では、韓国の人も牽牛と織姫の物語をみんな知っているでしょうね。

チョンス: もちろんです。童話によく出る話なので、知らない人はほとんどいないと思います。

よしこ: では、その日に韓国では何をしますか?

チョンス: そうですね。今思うと、その日にはよく雨が降っていた気がします。牽牛と織姫が 1 年に 1 回会って泣くからなんですって。そうだ! 昔はこの日にズッキーニでチヂミを作って食べたという話を聞いたことがあります。

よしこ: そうですか。おいしそうですね。

チョンス: では私たちが明日友達を呼んで一緒に作って食べましょうか?

よしこ: いいですよ。楽しそうですね。

第 16 課 礼儀作法

第 16 課 Step 1 先生のお宅で

昨日、友達の前が先生のお宅に一緒に行こうと誘ってきた。最初は先生のお宅に行くのが負担になって断ろうとしたが、結局一緒に行った。なぜなら、韓国の人は目上の人に対して礼儀正しいという話を聞いたが、私は礼儀作法についてあまり知らないからである。しかし、前がいるので大丈夫だろうと思った。

先生のお宅に着いた私たちはリビングでしばらく話をした。私は正座をして座ったが、前は胡坐をかいて座っていたのだ。すると先生は私に楽に座っていいとおっしゃった。

しばらくして奥様が「お腹すいてらっしゃるでしょう。どうぞ召し上がってください。」とおっしゃった。食卓には冷たいビールとおいそうな韓国料理が並べてあった。先生がお酒を注ごうとしたら、前が「違います。僕が先に注がなくては。」と言いながら両手でビール瓶を持ってお酒を注いだ。もちろんお酒をいただくときも両手でいただいた。そしてお酒を飲む時は、体を横に反らして飲んでいたのである。これはドラマで見たことがあると思った。

ところが、途中で先生がお酒を飲み干したグラスを私に渡しながらか「酒をもらうように」とおっしゃった。「使っていたグラスなのに…」と思いつつ、お断りしようとしたが前がいただくようにとサインをくれたのでいただいた。これだけではない。私が先生にお酒を注ごうとしたら、先生は残っていたお酒を急いで飲み干された。そうだ！韓国ではグラスが空いたときにお酒を注ぐと聞いたような気がする。

昨日はとても緊張した一日だったが、韓国の文化を知れば知るほど日本と違って面白いと思う。

第 16 課 Step 2 韓国の生活

ヘジン：けんたろうさん、韓国での生活はいかがですか。韓国について私より詳しいんじゃないですか。

けんたろう：詳しいなんて。ある程度慣れましたが、やっぱり目上の人に対するマナーが難しいと思います。

ヘジン：この前、電車でおばあさんに席も譲ったとおっしゃったじゃないですか。

けんたろう：はい。最初は優先席とは知らず、そのまま座っていたんです。ところが向かいの席に座っていたおじさんが立ち上がっておばあさんに席を譲るのを見て気づきました。

ヘジン：そうしながら学ばんですよ。普通、若い人たちは優先席に座りませんからね。

けんたろう：ところでこの間学校で歓送会をしましたが、その時教授がタバコを吸われたので大丈夫だろうと思い、僕もタバコを吸ったんです。ところがみんな僕を見ていたんです。僕がなにか間違えたのでしょうか。

ヘジン：目上の人の前でタバコを吸ってはいけません。先生がタバコを渡して吸うようにおっしゃれば吸ってもいいでしょうけど。それはお父さんの前でも同じです。

けんたろう：ええ？お父さんの前でもタバコを吸ってはいけないんですか。

第 17 課 描写

第 17 課 Step 1 田舎の風景

久しぶりに故郷の家に来た。小さい時から良く登っていた裏山へ行ってみた。お母さんが裏山にある松の話をよくされたので、まだ元気に育っているとは知っていたが実際に見たらとても嬉しかった。私はこの松に身体を寄せかけて座り、下を見下ろした。

山の下にはくねくねした田舎道が見え、さらさら流れる小川も見える。子どもたちは汗をたらたら流して走り回り、おじいさんは木陰に座ってこっくりこっくりと居眠りをしていっしょやる。やっと歩き始めた子どもがお母さんの手を握ってよちよち歩く姿もとても可愛い。

道端にぱっと咲いているお花たちと、ひらひら飛び回る蝶々を見るととても心が安らぐ。日が沈む時、赤く染まった夕焼けも、美しく夜空にきらきら光る星たちも見ものである。

それに日差しがかんかん照らされる真夏にも、涼しい日陰のおかげでそんなに暑いとも思わず、雪がこんこんと降る冬の景色も素晴らしい。

次回またいつ来るか分からないけれど、ここだけは永遠に変わらないでほしい。

第 17 課 Step 2 リビングの様様替え

妻：今年の春はリビングも整理しがてら、雰囲気を少し変えたいです。

夫：いい考えだね。僕は何によりソファをもう少しふかふかしたものに換えたいんだけど。

妻：そうですね。このソファは硬くて少し不便でしょう？そして青いカーテンも冷たく見えませんか？もう少し暖かい色に換えましょうか？

夫：僕は変えなくてもいい気がするけど。それは君の好きなようにして。

妻：テーブルも大きすぎて場所をとるから窮屈に見えます。小さいテーブルに変えたら、リビングがもう少し広く見えそうです。

夫：テーブルは大きいのが便利だろう。そこでたまに本も読んだりするから。

妻：それじゃあテーブルはこのままにして本棚を一つ買ってリビングにある本を整理すれば、もうちょっとすっきりと見えそうです。

夫：本が確かに多いね。

妻：壁紙はどうですか？最近壁紙もいいものがたくさんあったんですよ。

夫：壁紙も変えるって？

妻：壁紙もパステルカラーに変えたら全体的にもうちょっと柔らかく見えそうですよ。壁紙の張替えさえすれば、新しい家になりそうですね。

夫：むしろ引っ越した方がいいだろう…。

第 18 課 相談

第 18 課 Step 1 子供が整理をしません。

Q：こんにちは、私は小学校 2 年生の男の子を持つ主婦です。子供が一人なのですべてのことを私が全部やってあげたら、学校に入ってから全然整理をしません。学校から帰ってくるとかばんはもちろん、洋服も部屋に投げておきます。これだけではありません。食べ物を食べたら、いつもそのままにしておきます。お菓子の袋をゴミ箱に捨てるようにも言うことをよく聞きません。

そうになったら私はずっと小言を言い、子供は聞きたがらないし、生活が毎日こうです。子供のためにも整理をする習慣を持たせたいです。いい方法を教えてください。

A：お母様、こんにちは。

私も以前、同じ経験があるのでお母様の悩みがよく分かるような気がします。大体の子供たちが整理をしたくても方法がよく分からなくて出来ない場合が多いです。ここはかばん、ここは洋服、このように物を置く場所を決めてみてください。そして子供が整理をしたら、たくさん褒めてあげてください。よくやったら褒めてあげると子供はもっと上手にやろうとします。そして子供が整理する習慣が付くまではお母さんが一緒に整理をしようと誘ってみてください。お母さんが整理するのを見ながら、子供も自然に整理する方法を学ぶことができるでしょう。

参考になさって、お役に立てば良いと思います。

第 18 課 Step 2 主人の転勤

キョンスク：夫が 4 月から転勤することになりました。

ひろ：ではご家族たちも皆で一緒に行かれますか。

キョンスク：今、悩み中です。夫だけ送るべきなのか、それとも子供達も連れて皆で一緒に行くべきなのか…。

ひろ：転勤なさったら、どれほどいらっしゃるんですか。

キョンスク：それが分かりません。約 1 年なら夫一人で行ってもよさそうです。子供達の学校の問題もありますし。

ひろ：そうですね。子供たちもようやく学校に慣れたのに。

キョンスク：はい、友達もできて学校生活も面白がっているのに、転校すると言ったら嫌がるだろうと思います。

ひろ：キョンスクさんも仕事を辞めると、とてももったいないですよ。職場も良いのに…。

キョンスク：そうです。私も仕事を辞めたくないんです。

ひろ：では、ご主人が先に行ってらっしゃって、状況を見てから決めたらいいませんか？

キョンスク：それもいい考えですね。だいたい 1 年くらいは夫が先に行っていて、長くなりそうだったらその時に考え直さなくてはなりませんね。

ひろ：では、当分の間は週末夫婦になりそうですね。

キョンスク：はい、当分の間はおかずでも用意して持って行ってあげなくてはいけませんね。

ひろ：本当にいい奥様ですね。

キョンスク：違います。夫が全然料理をしないからです。今晚にでも夫にそれを言うべきですよ。

第 19 課 生活のなかの文化

第 19 課 Step 1 数字と文化

どの国でも特定の数字がその国の文化を表すほど深い関連性を持っている場合が多い。

韓国では特に 100 という数字が重要な意味を持つ。例えば、赤ちゃんが生まれて 100 日目になる日には「ベギルジャンチ(百日祝い)」を開いて祝う。昔は赤ちゃんたちが 100 日を超えて生きることが容易ではなかったため、100 日が無事に過ぎたら赤ちゃんがこれから健康に生きられると信じていた。また大学入試を準備する受験生のお母さんたちはお寺や教会で百日祈りを捧げたりもする。100 日の間ずっとお祈りをしてこそ、その真心が天に伝わると考えた。もちろん試験に合格するのは学生自身が勉強することにかかっているが、子供のための両親の切実な気持ちをうかがい知ることができる。

100 以外に数字の 3 も韓国の生活文化と深い関連がある。3 は完成と終結の意味を持っているので「三日坊主」という言葉や「寺小屋の犬として 3 年経ったら花鳥風月を詠む」という諺があるほどである。また、会社の仕事や嫁ぎ先での暮らしが辛い時には「3 年間だけ辛抱しろ」とアドバイスしたりもする。

このように数字で文化を理解できるのもかなり興味深いことである。

第 19 課 Step 2 結婚しようかと思っています。

ヒونس: ショウコさん、結婚するんですって? いつするんですか?

ショウコ: はい、今年の秋ごろに結婚式を挙げようかと思っています。

ヒونس: 本当におめでとうございます。式はどこで挙げますか。

ショウコ: 結婚式は韓国で挙げようかと思っていますが、まだ分からないんです。

ヒونس: 韓国で挙げるなら結婚式の時呼んでください。この前の日本語サークルの友達たちも連れて行きます。

ショウコ: あ、はい。

ヒونس: それじゃあ、結婚して韓国で旦那さんのご両親と一緒に暮らしますか。

ショウコ: いえ、夫のご両親と一緒に暮らすには私分からないことが多すぎて、一応、別々に暮らしたほうが良いのではないかと思います。

ヒونس: そうですか。

ショウコ: ところでこの前、夫のお母様が二人のグンハップ(宮合)か何かを見るといつて生年月日を尋ねられました。グンハップって何ですか?

ヒونس: あ、グンハップですか。普通、結婚する前に二人が仲良く暮らせるかを占うことです。

ショウコ: あら! よくなかったらどうしますか?

ヒونس: あまり気にしないでください。お二人はチャルトック・グンハップ(すごく相性がいいこと)ですから心配する必要はないでしょう。

ショウコ: ええ? チャルトック・グンハップって?

第 20 課 文学

第 20 課 Step 1 檀君(タングン)物語

昔々、天の国に神の息子ファンウンが住んでいました。ファンウンは苦勞しながら暮らしている人間を助けたくて、人間の世界に降りてきました。ファンウンは人間の世界に来る時、風の神様、雨の神様、雲の神様とともに 3000 人の家来を連れて降りてきました。

人間の世界に降りてきたファンウンは、人々に農業を営む方法、病気を治す方法など、生きていくのに必要なことをたくさん教えました。そして、人々は以前より暮らしやすくなりました。

そうしていたある日、熊一匹と虎一匹がファンウンを訪ねてきて、「ファンウン様！ 私たちも人間になりたいです。人間にならせてください。」と言いました。

それでファンウンは「君たちが本当に人間になりたいのなら、ここのヨモギとニンニクをあげるから真っ暗な洞窟の中で 100 日間これだけ食べながら暮しなさい。そうすれば人間になるはずだ。」と言いました。

熊と虎は希望を持って洞窟の中で暮らしましたが、思ったよりも辛かったのです。結局虎は、途中で洞窟の中から出てきてしまいました。虎が出て行ってしまったので、熊はさらに寂しくて大変でしたが、じっと我慢して過ごしました。

100 日が過ぎてから、とうとう女の人になった熊にファンウンはウンニョという名前を名付けました。ファンウンはウンニョと結婚をして息子を生まれました。この子供が紀元前 2333 年に古朝鮮を立てた檀君(タングン)です。

第 20 課 Step 2 幸せな時間

雨が降る夏の日、軒先から落ちる雨水が指の間をかする感触や、寒い冬、かちかちと凍った手を握ってくれた誰かの温もりが幸せであった。母の布団の中で横になり、母の匂いを嗅ぎながら、母の情愛深くて温かい声が聞こえる静かでこじんまりしている安らかさが幸せであった。落ち葉を拾って本の中に挟む自分を見て幸せだったし、友たちとキャツキャツと笑いながら時間が経つのも忘れて語り合っていたあの若い時代が幸せであった。

今でも映画を見たら涙を流し、心ときめく自分がいて幸せである。家族みんなが集まって夕食を済ませて語り合うこの平凡な今の時間も幸せである。みんなが出かけた空き家で洗濯ひもにかかっている白い洗濯物を見ながらコーヒーを飲む、静かで暇な時間があって私は本当に幸せである。うちの子が初めて私に送った微笑みと、初めて呼んでくれた「お母さん」という言葉を聞いて、涙が出るほど幸せだったし、いまや私より大人になったその子が、私よりももっと幸せでいてほしい。

遠い後日、年をとった私は雪がひらひら降る日、子供のように笑いながら雪に降られる少女のような心が残っていて欲しいし、たまに私を訪ねてくれて一緒に過ごした日々を記憶できる友達がいたらいいと思う。他人の過ちも笑いながら許せる余裕があったら私はもっと幸せになりそうだ。私は大きな幸せを望まない。この些細な幸せが私の家族と友達たちといつまでも共にあることを願うだけである。